

臨床研究に関する情報公開

「当科における pT2 胆嚢癌切除例の検討」へのご協力をお願い

当院の研究責任者

外科 田端正己

他の研究機関および各施設の研究責任者

なし

研究の対象

2010年1月～松阪中央総合病院外科で胆嚢癌の切除手術を受けられ、術後の病理組織学的検査で癌の進行度が pT2(漿膜下層あるいは胆嚢床部筋層周囲の結合組織に浸潤)であった方

研究目的・方法

癌深達度が pT1a(粘膜固有層)あるいは pT1b(固有筋層)にとどまる、いわゆる早期胆嚢癌は単純胆摘のみでも良好な予後が得られるのに対し、漿膜浸潤や他臓器浸潤を伴う pT3, pT4 の高度進行癌では肝臓同時切除や血管合併切除などの拡大手術を行っても、長期予後はほとんど期待できません。pT2 胆嚢癌(漿膜下層あるいは胆嚢床部筋層周囲の結合組織に浸潤)の治療成績はこれら両者の中間に位置しますが、その至適手術術式(肝切除範囲や胆管切除の是非など)については、未だ一定の見解は得られていません。そこで、当科で切除した pT2 胆嚢癌の治療成績を解析し、pT2 胆嚢癌の至適術式を検討することが、本研究の目的です。

研究に用いる試料・情報の種類

検査所見、病理組織学的所見、画像やカルテ記載等の診療情報

外部への試料・情報の提供

ありません

個人情報の取扱い

研究に使用する情報から個人を特定できるものは削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。

研究資金源・利益相反

ありません

お問い合わせ先

0598-21-5252 田端正己